

岐阜県人口ビジョンの概要（案）

2015年8月

岐阜県の人口動態

人口減少と少子高齢化

- 県人口は2000年の211万人以降減少が続き、2014年現在204万人。
- 年少人口と生産年齢人口は減少しているが、老年人口が増加している。

自然動態

- 出生数が減少する一方、死亡数が増加。
- 合計特殊出生率は持ち直したが出生数は減少している。これはそもそも親となる若い女性の数が減少しているため。
- 未婚率の上昇も出生数減少の一因。
- 平均寿命は一貫して伸びている。

社会動態

- 2005年以降、県外への転出超過が続く。うち、35%は愛知県、東京へは7%。
- 転出理由としては、若者の「職業上」、「学業上」、「結婚等」が多い。
- 転入理由として「住宅事情」が多い。
- 市町村の社会移動の特徴を基に類型。
 - ① ダム機能都市型
 - ② ダム機能都市通勤圏型
 - ③ 愛知県通勤圏型
 - ④ ハイブリッド型
 - ⑤ 自己完結型

目指すべき人口の展望

人口の将来推計

- このままのペースで自然減少と社会減少が続くとすると、
 - 2040年に158万人へ、
 - 2100年に63万人へ、
 - 2150年には30万人へ減少が続く。
- 合計特殊出生率を2030年までに1.8へ、2040年までに2.07へ上昇させ、社会移動を2040年に均衡させると、
 - 2040年に169万人へ、
 - 2100年に132万人となり、
 - その後人口130万人程度で維持できる。
- この場合、高齢化の進行を食い止め、人口構成の若返りを図ることができる。

【ベストシナリオ】

県人口を
2100年に130万人で維持する

そのために合計特殊出生率を2030年までに1.8、2040年までに2.07へ上昇させるとともに、ひとを留め、呼び込む

基本的視点

人口減少に歯止めをかけることができたとしても、その過程においても人口減少の進行を伴うことは避けられない。そこで、次の二つの視点から対策を講じていく。

人口減少そのものへの挑戦

- 人口減少自体の解消を目指す
- 自然減対策
 - …出生率の向上と出生数の増加
- 社会減対策
 - …転出の抑制と転入の促進

人口減少社会への挑戦

- 人口減少により変化する社会への対応
- 地域が活力を維持し、住民が安心して暮らすことができる社会づくり
- 地域特性に応じ、多様な主体と連携して施策を展開する

「清流の国ぎふ」創生総合戦略にて

「清流の国ぎふ」の 未来づくり

に取り組む